

使い捨て社会は変わるのか

(社) 日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会
理事 辰巳菊子
(2008/3/26)

使い捨てからの連想

- **ホッカイロ**：消費者は、一般ごみ或は燃えないごみに入れて廃棄しているがその数たるや想像を絶する
⇔使い捨てない充電式や昔の白金カイロが話題
- **使い捨てカメラ**：完全なリサイクルができる商品となって、汚名返上。レンズ付きカメラ???
- **エネルギー**：使い捨ての典型であった乾電池が変身。
- **携帯電話**がこれらに続くか

何よりも「使い捨て」の言葉のイメージが悪い。その思いを「もったいない」で表し、その心には大事にする、という優しさ、豊かさがある⇒受け入れやすい

例えば家電の問題

<家電リサイクル技術のさらなる向上>

●薄型テレビなどが追加される予定

まだ液晶テレビもプラズマテレビもリサイクル技術など完全ではない

不要家電の不法投棄や海外への輸出の問題もなくなっていない

携帯電話の場合

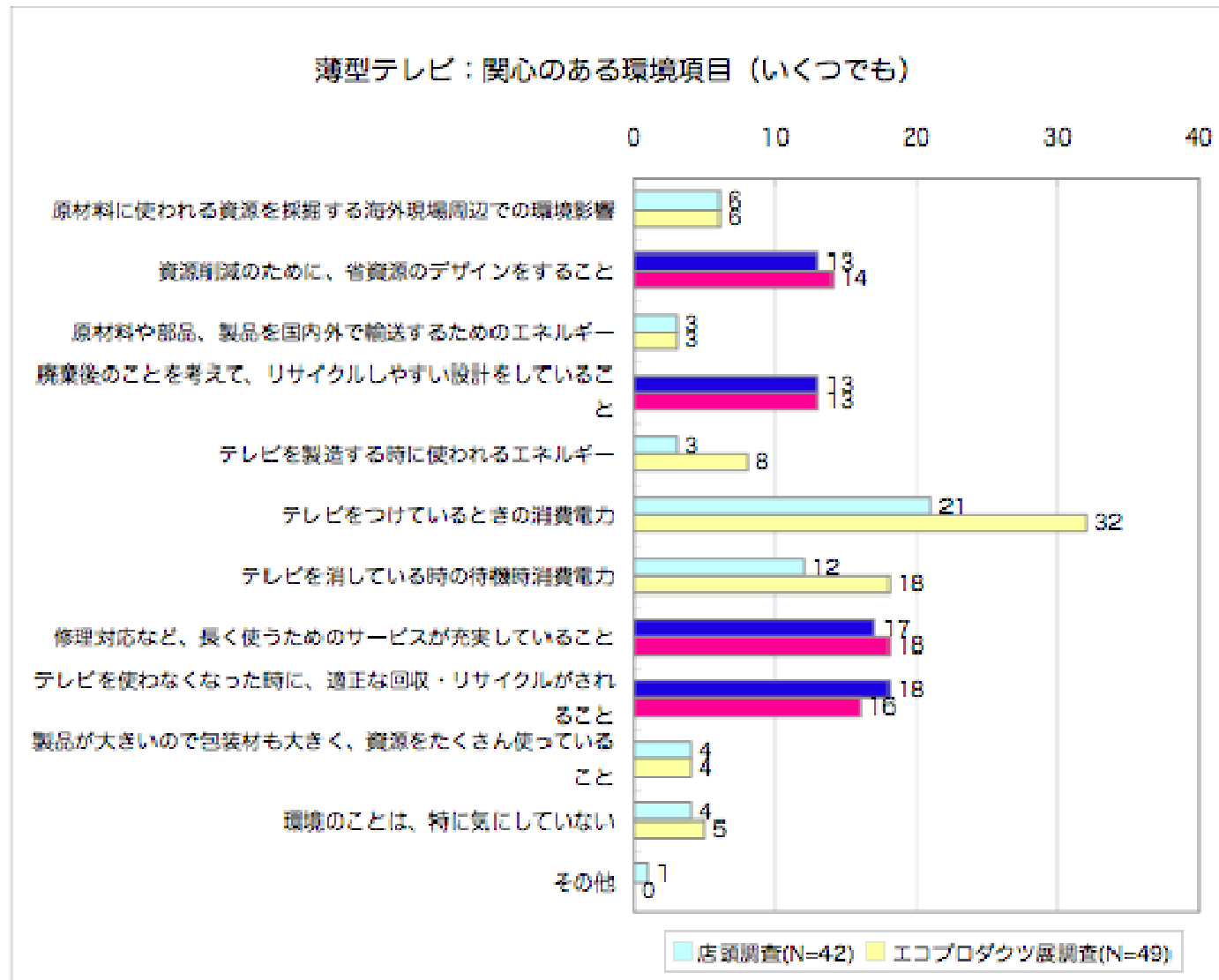
- 携帯電話 1 t からレアメタルの量
金400g、銀2,000 g が回収できるといわれている
これらは鉱石よりも効率が良いが、t 単位で集めなければ経済効率が悪い
1台で200 g とすると、5,000台が必要
しかし、社会では、「携帯電話＝都市鉱山」と話題
実際は、数が集まらず、現状、他の家電品の方が効率よくレアメタルを採取できるとのこと
(DOWAエコシステムの話しより)

<回収のためのシステム構築の必要性>

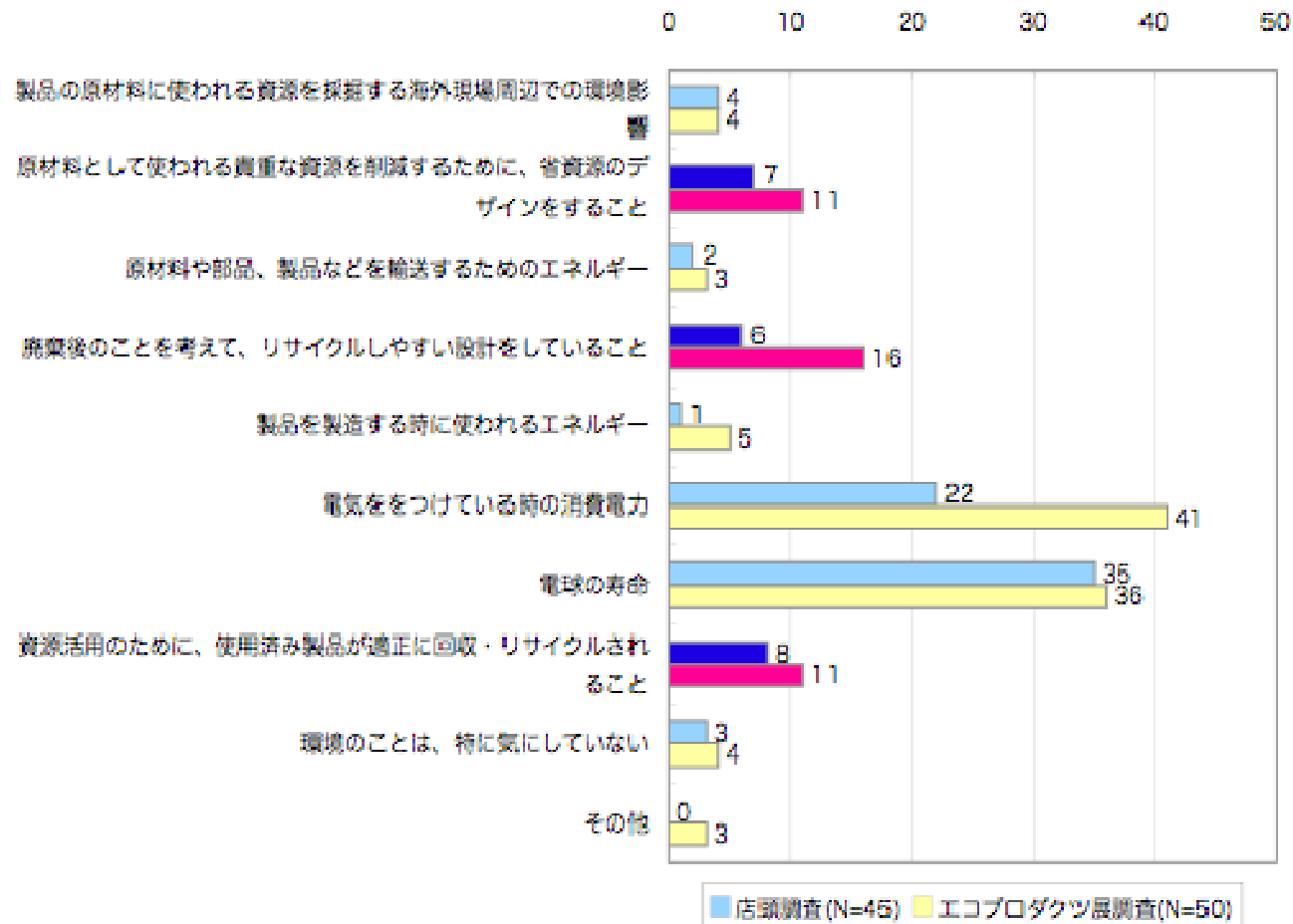
- レアメタルの回収と有害物質の漏洩を防ぐためにも、デポジット制の導入など、回収のためのシステム構築の検討を緊急にするべきであること
- 消費者の理解促進をはかることなど

課題が山積

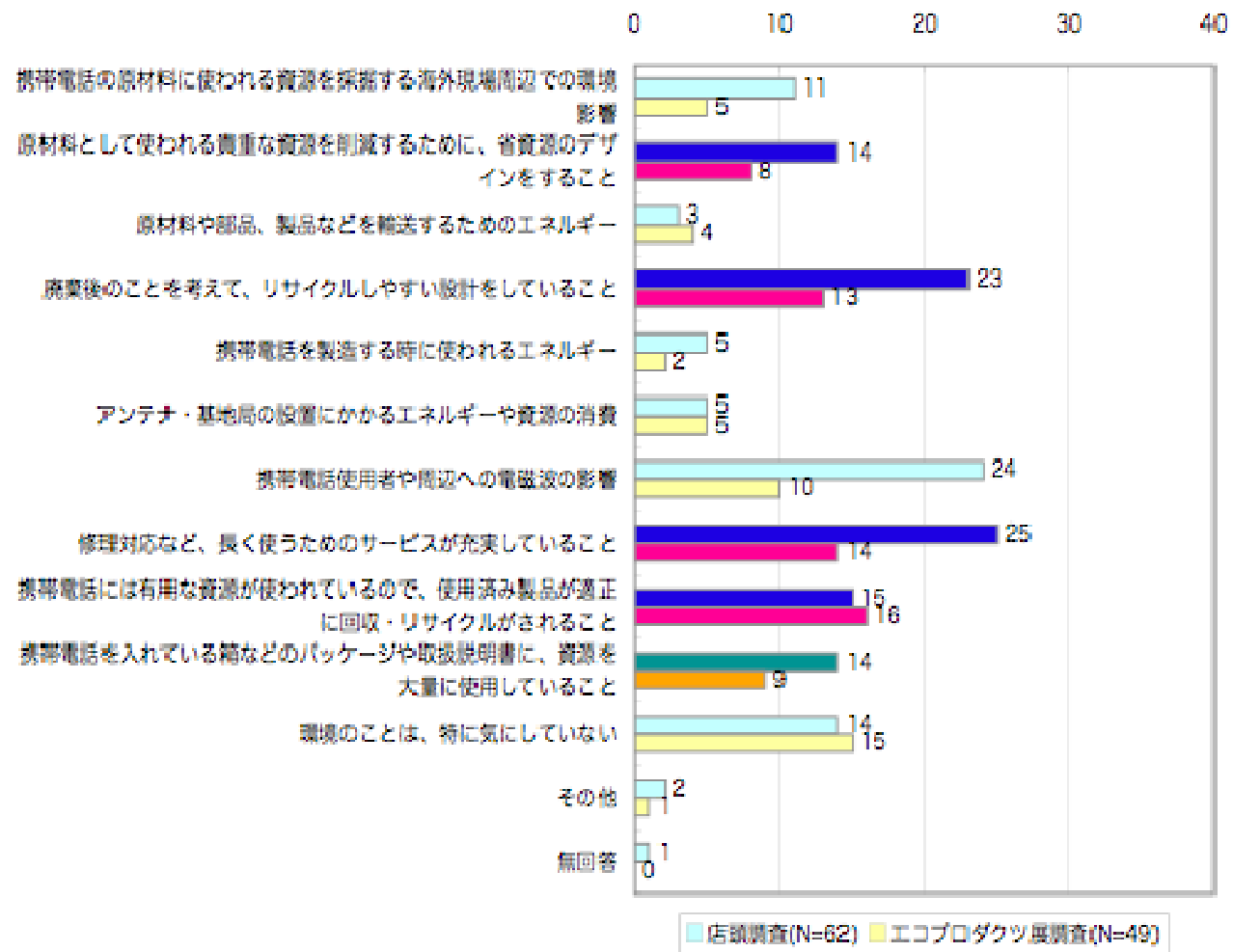
購入者、使用者への調査実施（2007年10月，12月）



電球型蛍光ランプ：関心のある環境項目（いくつでも）



携帯電話：関心のある環境項目（いくつでも）



消費者の3R情報へのニーズ

- 資源に関する情報として
 - ・ 資源採掘現場周辺の影響
 - ・ 資源削減のための省資源デザイン
 - ・ リサイクルしやすい設計をしている
 - ・ 長く使うためのサービスの充実
 - ・ 適正に回収・リサイクルされる
 - （今回は聞いていないが、どのようにリサイクルされているのかという関心もある）
 - ・ 包装材や、取り説の省資源化

⇒ 誰がどのように伝えるのか